

富山と対岸諸国との物流

～韓国・ロシアとの関係と北東アジアの物流～

08年秋のリーマン・ショック以降、縮小傾向に陥っていた世界経済も、ようやく回復の兆しを見せ始めています。物流も回復の兆しを見せていますが、世界経済の縮小とロシアの通商政策の変更というダブル・パンチを受けた富山の物流は今後どのような変化をみせていくのでしょうか。

一方北東アジアに目を転じれば、いまやアジアのハブ港となった釜山港を擁する韓国をはじめ、世界第二位の経済大国にならんとしている中国を中心に物流も大きく動いています。このようななかで、日本海に面する富山の物流はどうあるべきか。ロシア便の輸送ルート変更の影響や韓国を中心とする物流の在り方や中口間でのモノの流れはどのように変わっていくのでしょうか。

本シンポジウムでは、韓国および北東アジアの物流事情の泰斗である韓国・仁荷大学・静石物流通商研究院の教授2名をお招きし、韓国を中心とした北東アジアの物流、韓国と富山の関係を、さらに中国、ロシアの物流問題の講演を行います。

日時：2010年10月20日（水）13：30～17：15

場所：富山国際会議場（富山市大手町1-2 電話：076-424-5931）

プログラム：（韓国語通訳あり）

13：30-13：40 今村弘子富山大学極東地域研究センター長・挨拶

13：40-14：40 洪 承麟「物流クラスターのための港湾後背地の活性化方策」

14：40-15：40 全 宰完「環境を考慮した港湾都市の発展方策についての研究

—東北アジア物流港湾としての仁川を中心に—

15：40-15：55 休 憩

15：55-16：35 辻 美代「中国の南方・北方交流の現状」

16：35-17：15 堀江典生「富山とロシア極東との経済交流の課題」

講演者略歴 洪 承麟（Hong, Seung Lin）仁荷大学静石物流通商研究院研究教授、経済学博士、
韓国東北アジア経済学会事務次長

全 宰完（Jeon, Jae Woan）、仁荷大学静石物流通商研究院研究教授、経営学博士、
韓国国際通商学会事務局長

辻 美代：流通科学大学商学部教授、専攻は中国経済論、繊維産業論

堀江典生：富山大学極東地域研究センター教授、専門はロシア経済、ロシアの移民問題
（問合せ・申込み先：富山大学・極東地域研究センター

電話：076（445）6510、ファクシミリ：076（445）6520

メールアドレス：kyokuto@eco.u-toyama.ac.jp

申
込
書

お 名 前	連 絡 先

